

2017年(平成29年) 2月発行

糸田町議会だより

第12号

△ 烏尾峠から早朝撮影 糸田町民撮影を起用

12月定例会 おもな内容

研修視察	p2 ~ p3
一般質問(町政を問う)	p4 ~ p9
委員会審査	p10 ~ p11
平成27年度 決算特別委員会認定 ..	p12
まちはどうなっしようと	p14 ~ p15

傍聴にも
きてね!!

ギカイくん

今号の表紙写真はステキでしょう! みなさんの声を聞かせてね。アンケートを用意しています。



たよりちゃん

平成28年度 議会広報研修会

- 日時 11月22日(火) 午前10時30分
- 場所 福岡県自治会館
- 内容 ▶ 研修
エディター・広報アナリスト 吉村 潔氏
〈午前の部〉
演題「動く議会 変わる広報
～住民に読まれ、支持される広報紙づくり～」
〈午後の部〉
広報クリニック
- 参加者 委員長：小嶋 竹田・松岡・中原・松瀬・井手元



糸田町議会だより第10号をクリニック

- ▶ 「ページ数に対するコンテンツが豊富である。」
- ▶ アドバイス
「色の使い方」「頑張っている若者、子育て世代の企画を取り入れてはどうか。」

総務文教振興常任委員会現場視察

- 日時 11月24日(木) 正午
- 場所 糸田小学校
- 内容 ▶ 学校給食試食
・気づいたところ
✓栄養のバランスが考えられている。
✓味付けが良く食べやすい。
・メニューは和食
Q だしは昆布でとっているのか。
A 昆布でとっている。
Q アレルギー対策は？
A 子ども一人ひとりに合わせた対応をしている。
▶ 給食時間の見学
・気づいたところ
✓楽しそうに笑顔で食べている姿が印象的。
- 参加者 委員長：竹田
山田・小嶋・村上・井手元・松岡(学校給食センター運営審議委員)



建設厚生常任委員会現地視察

- 日時 11月29日(火) 午前11時45分
- 場所 宮床町営団地B棟
- 内容 ▶ 宮床町営団地B棟の現地視察
・視察で気づいた大きな特徴
✓バリアフリーで使いやすい。
✓台所設備が充実。
✓ペアガラス(2重ガラス)になっていて、防音、結露防止、空調の効率化となる。
- 参加者 委員長：城島
田中・早麻・松岡・中原・松瀬
(山田・竹田・小嶋・村上・井手元)
※総務文教振興常任委員会委員



△ エレベーター完備

田川郡町村議会議長会視察研修

- 日にち 10月4日(火)～6日(木)
- 場所 徳島県神山町・徳島市
香川県高松市・多度津市
- 内容 ・神山町(空き家対策、移住促進等)
・高松丸亀町商店街振興組合(商店街再開発)
・中讃広域行政事務組合(し尿処理施設)
・徳島市役所(定住自立圏)
・立ち寄り視察(栗林公園・鳴門公園)
- 参加者 議長：井手元



糸田町も見習っていいところをどんどん取り入れていかないとね

どこのまちも画期的な取り組みや、思い切った施策をしているんだね！



平成28年度 田川郡町村議会議長会研修会

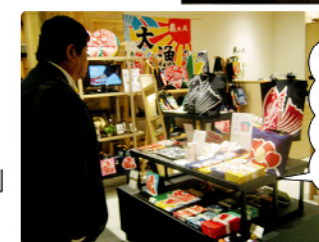
- 日時 11月7日(月) 午後2時20分
- 場所 福智町地域交流センター
- 内容 ▶ 講演 山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授 江藤 俊昭氏
演題 「『住民自治の根幹』としての議会の役割 ― 住民から信頼される議会 ―」
- 参加者 議長：井手元 副議長：中原
竹田・小嶋・早麻・谷口・松岡・村上・城島・松瀬
(欠席：山田・田中)



町村議会の特徴として「議員定数の少なさ」「議員報酬・政務活動費の少なさ」「議会議務局職員の少なさ」を挙げられ、議会力を高めるためにはここから改善していく必要があるという内容に、今後議会としても更なる研鑽をしていかなければなりません。
※糸田町においては政務活動費はありません。

第60回町村議会議長会全国大会

- 日にち 11月9日(水)～11月10日(木)
- 場所 東京都 NHKホール
- 内容 11月9日
▶ 議事(1要望 2決議 3特別決議 4実行運動方法)
▶ 特別講演
・シンクロスイマー 武田 美保氏
演題「究極のチームワーク・リーダーシップ」
11月10日
▶ 立ち寄り視察 ・全国物産展「まるごとにつぼん」
- 参加者 議長：井手元



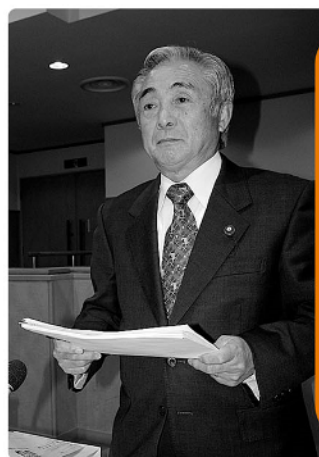
全国の特産品にびっくり！
糸田町も
もりあげるぞ！！

町政を問う!!

一般質問とは

議員が町の仕事全般について、質問したり、政策提言をおこなうことで、糸田町議会では通常一人50分以内でおこない、議会だよりには、要約したものを掲載しています。

9番 中原 詔蔵 議員



Q 学校給食センターと体育館の建設計画構想を問う。

A(課長) 給食センター建設は、小学校敷地内での建設に向けて検討をおこなっている。

A(教育長) 給食センターをできるだけ早く建替えることが基本である。

質問 給食センターの問題は、6月議会で質問をした。教育長の

答弁は、本年度中に基本設計の予算を議会で承認後、平成30年に着手する方向で考えているとの答弁であった。

その後9月議会において、給食センター基本設計委託料として約500万円と同時に、体育館基本設計委託料として約500万円が計上され、議会で承認された。どこの体育館を建替えるのか説明はなかったと思う。ただ過去の情報として、小学校の体育館の築年数が一番経過していることは承知をしている。もしも小学校体育館が対象であれば、総合的にどのような建設計画を考えているのか問う。

答弁(課長) 給食センター建設計画の進捗は、ちよくであるが、築47年が経過した給食センターの建替えは喫緊の課題である。いま一度学校給食のあり方を検証する必要があるのではないかと、そういった観点から、平成28年10月4日に町長の諮問機関とし

て、糸田町学校給食検討委員会が設置された。

諮問の趣旨は、今後の学校給食をどうしていくべきかを問うものである。あらゆる側面から検討協議をおこない、11月22日に答申が出された。内容は、現在実施している給食センター方式による全員喫食での給食の提供を引き続きおこなうこととし、給食センターの早期な建替えを要望するものである。現在小学校敷地内での建設に向けて最終候補地の検討をおこなっている。

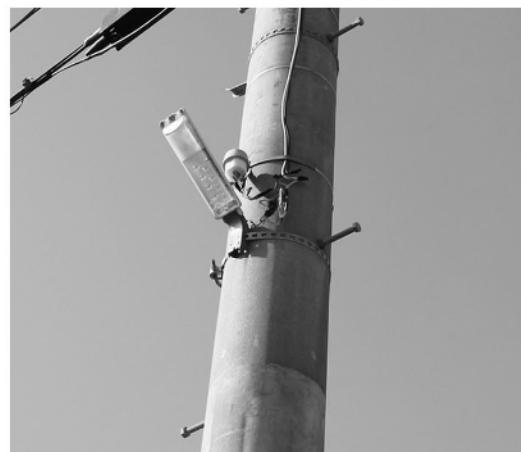
次に、体育館に関しては、国の補正予算である未来への投資を実現する経済対策の事業対象になった場合を想定した予算づけであった。その後の文部科学省の事業説明において、今回の国の補正予算については平成29年度事業計画分の前倒しが対象との説明があり、本町は事業対象外であり、よって、体育館建設については、事業を見送る方向で協議をしている。

答弁(教育長) 教育委員会としては、そういう事業に乗るようなことがあれば、考えていきたい。給食センターをできるだけ早く建替えることが基本である。



Q 町管理の街路灯(LED灯)の交換を問う。

A(課長) 工期の終わりは、2月末という形になる。

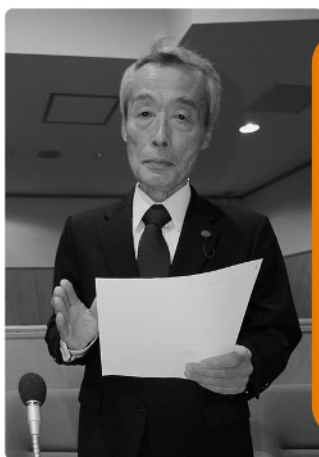


Q 児童虐待問題の今後の対応、対策を問う。

A(課長) 支援センターを平成32年までに設置をするようにと国から話が来ている。

A(町長) 平成32年の実施と言わず、専門職の確保ができれば前向きに考える。

11番 松瀬 征行 議員



Q 4月移行の「要支援事業」介護サービスを低下させない取組を問う。

A 糸田町に合ったサービス、住民が求めるサービスの制度を生かしたい。

質問 本町の要支援者数とサービス利用状況について問う。

答弁(課長) 平成28年10月末現在、要支援1は178名、要支援2は119名、利用状況は、要支援1と2の合計で訪問介護183件、通所介護113件だ。

質問 4月からの「事業運営」と現行との比較を問う。

答弁(課長) 地域包括ケア推進の観点から、市町村を主体に新しい地域支援事業を実施し取り組みを支援する形となる。糸田町独自で今までは行

政からおりるサービスが今度を使う側のニーズに応えた形のサービスができる。

質問 町が独自に簡素化等で費用や利用料等を抑えることが出来るボランティア実施について問う。

答弁(町長) ボランティアの活用については、地域住民と行政が一緒に支援する制度で民生委員等意見を聞き前向きに取り組む。

Q 就学援助について。子どもの教育格差、貧困対策の取組を問う。

A 就学援助制度の活用、学習支援の無料教室、ソーシャルワーカー設置。

質問 本校の就学援助の実情について問う。

答弁(課長) 11月末現在、小学校479人で要保護数は53人11・06%、準要保護数は96人20・04%、中学校216人で要保護数は35人16・20%、準要保護数は45人20・83%の状況である。

質問 就学援助制度の周知方法と支給方法を問う。

答弁(課長) 新入学時、毎年度の進級時に保護者に文書を配布、広報2月号に掲載し周知を図っている。

支給方法は、保護者を介するのではなく町の歳出から直接学校に納入する。

質問 就学援助の認定日と認定基準等について問う。

答弁(課長) 申請期間は3月1日から末日までだが随時申請の受付をしており、認定日は受付の翌月から。

認定基準は、生活保護基準に基づき世帯構成人数、子どもの数、母子家庭の有無等全10項目の基準額の合計に1・1の係数を乗じている。

質問 町村によつては1・3の係数を乗じている。本町も上げる検討はできないか。

答弁(教育長) 他町との兼ね合いで一応検討する。

質問 政府は、生活保護費の引き下げに影響しないように指導すると言っているが糸田町の就学援助費が下がったとの確認でよいのか。

答弁(課長) 御指摘のとおりである。

質問 本町のPTA会費、生徒会費、クラブ活動費の3項目の就学援助について問う。



答弁(課長) 既に3項目は、支給対象となっている。

質問 教育行政の中で子どもの将来が生まれ育った環境に左右されず教育の機会均等を図る為にも教育格差、貧困対策を問う。

答弁(教育長) 義務教育における貧困対策は、経済的支援である。



Q 運転免許証自主返納者に対する本町の援助を問う。

A 運転に不安を感じる高齢者が自主返納しやすい環境づくりが必要。

質問 免許証自主返納者に支援、援助の為に町高齢者自主返納支援事業を立ち上げてはどうか。

答弁(町長) 免許証を返納すれば日常生活に支障が出る。地域交通機関とも連携協力して問題に取り組む。

8番 村上 秀二 議員



Q 災害時に於る緊急避難所の安心、安全性の確認を問う。

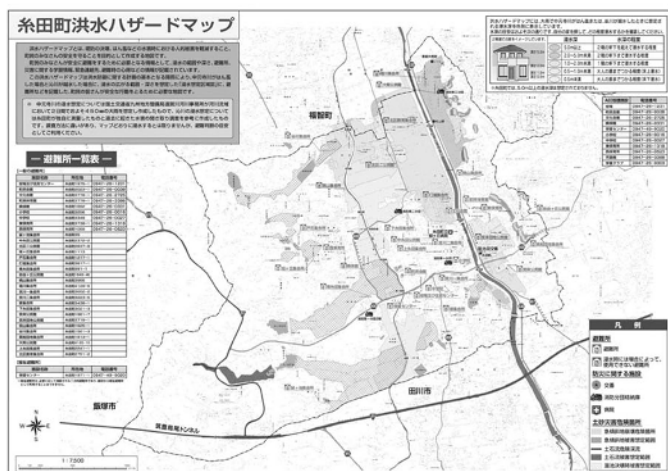
A(教育長) 小中学校の耐震審査には合格しているが窓ガラスの危険性が危惧される。

A(町長) 一刻も早く専門家に調査を依頼しどの程度の予算が必要かの検討。

質問 災害時の緊急避難所に指定されている中学校体育館等の窓ガラスは最も古いパテ工法という施工がされている。ガラスをとめている目地材の劣化は著しくカチカチでコンクリート状態であり無数のひび割れを見た。

平成17年3月20日に起きた福岡西方沖地震で天神ビル等で大量の窓ガラスが落下し、怪我人が出たのもこのパテ工法によるパテの劣化が原因とされる。ハザードマップにある町内の緊急避難所はそれぞれ状況、状態等が一カ所一カ所異なるが指定した避難所を今一度専門家に調査を依頼してはどうか。

災害時の避難所として指定されている小中体育館は平成20年度に耐震審査をおこない耐震性に問題はないとの結果が出ている。しかし今、議員の御指摘の窓については建設当時のパテによる窓ガラスが落下し、怪我人が出たのもこのパテ工法によるパテの劣化が原因とされる。ハザードマップにある町内の緊急避難所はそれぞれ状況、状態等が一カ所一カ所異なるが指定した避難所を今一度専門家に調査を依頼してはどうか。



ラスが落下し、怪我人が出たのもこのパテ工法によるパテの劣化が原因とされる。ハザードマップにある町内の緊急避難所はそれぞれ状況、状態等が一カ所一カ所異なるが指定した避難所を今一度専門家に調査を依頼してはどうか。

答弁(教育長) 災害時の避難所として指定されている小中体育館は平成20年度に耐震審査をおこない耐震性に問題はないとの結果が出ている。

しかし今、議員の御指摘の窓については建設当時のパテによる窓ガラス

Q 県道香春系田線について、田川県土整備事務所からの回答を問う。

A 明確な回答は、現在のところありません。

質問 貴船団地内から田川市の西ヶ浦団地への新設要望を田川県土事務所へ陳情をおこなって1年たっている。

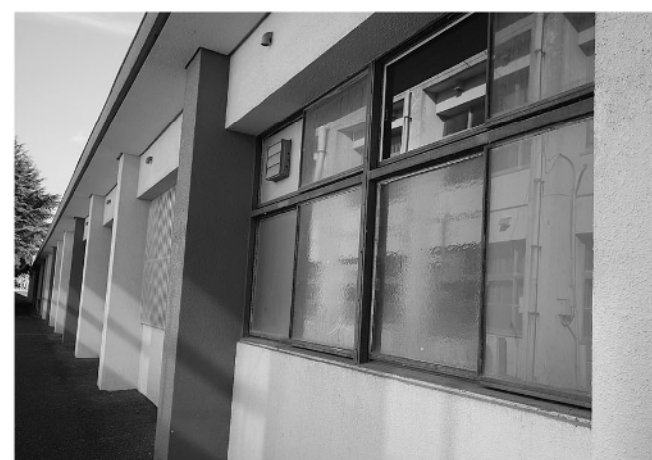
田川県土整備事務所からの回答と川食からの道路状況を改善する計画と田川市との協議結果について問う。

答弁(町長) 要望書については、明確な回答は現在の所ない。要望は貴船団地の交通緩和、糸田町立病院又は、田川市立病院の医療連携の充実にもつながる、今後も協議を進める。

川食側から西側に進入すれば、大通りにスムーズに進行できる。改善になればかなりの予算が見込まれる。改良の為の調査計画を進めたい。



スの固定がなされている。御指摘のとおりパテの劣化に依る窓ガラスの落下の危険性が危惧されるところである。



答弁(町長) 私も教育長が答弁したとおりで具体的には一刻も早く専門家に調査を依頼したい。

どの程度の予算が必要なのか、安心安全の教育施設を確保するという意味で非常に重要なことだと認識している。



Q ひとり暮らしで高齢者の方たちの見守り取り組みを問う。

A いつでもみんなと会える、コミュニティの場所を考えている。

質問 香春町は民間企業と一緒にない、ひとり暮らしで高齢者の見守りに関する協定を締結。安全安心に役立てる内容である。

ひとり暮らしで高齢者の方が不幸にならないよう、糸田町も何か取り組みが有るのか。

答弁(町長) いつでもみんなと会えるというコミュニティの場所を考えている。適当な場所にあずまやと椅子を設置、一日も早く実現したい。

質問 地震又それに依る津波台風風水害、火山活動など昨今はこの「想定外」という言葉が頻繁に使われるようになったが、しかしながら、これからはこの想定外という言葉そのものを想定内に入れた考えで取り組んでいかなければならないと痛切に感じる次第です。



Q ごみ処理及びし尿処理の建設費負担14億について。

A 推測で1年間に約1億1千6百万円を12年間払う。

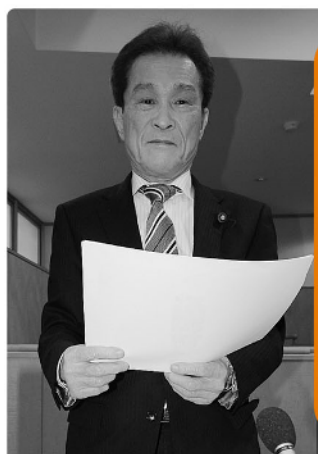
質問 ごみ処理・し尿処理施設の建設費300億円の内、100億円が国の補助、残り200億円の7・16%「約14億円」が糸田町の負担。その弁済方法及び期間、町民への影響及びメリットを問う。

答弁(課長) 起債償還年数を考慮すると1年間に1億1千6百万円を12年間払う。施設の集約化による建設費の縮減ができる。

ごみ袋が統一されれば、袋の販売価格が下がる可能性が有る。



7番 松岡 久 議員



Q 貴船団地内の道路状況の課題を改善する計画を問う。

A ロードハンブ(減速帯)の設置案を専門業者と協議。

質問 現状のままで事故やトラブルが起きる。スーパー川食側から団地内に入る坂道が、どうしても右折にくい。そのような道路状況の課題を改善する計画について問う。

答弁(課長) 貴船行政区より請願書で、県道振りがえルート要望が有っており、現在も県・田川市、糸田町も含めて要望中。

アンケートで要望が多かったロードハンブの設置案を専門業者と協議している。



1番 山田 陽一 議員

Q 若者の定住促進対策。大型公園新設整備を問う。

A 交流拠点が糸田町に必要と認識している。前向きに進めていきたい。

質問 若者の定住促進対策を問う。大型公園新設整備について、公園をイメージした場合に世代が違えば変わってくると思う。若者世代は公園とイメージすれば遊具があつて、子どもが安全・安心に遊べる施設。高齢者は、大自然、広大な敷地の中に遊歩道を作つて、春は桜、秋は紅葉と、公園をイメージされるのではない。町長の施政方針で述べ

られた大型公園に関してはどのような計画で進めていくのか、設置場所も重要な選定になる。

近隣地域には複合型の大規模な公園がある。田川郡内には、道の駅おとう、立派な遊具があり子どもを連れてきて自由に遊ばせている。糸田町も道の駅がある、整備できれば遊んだ帰りに食事をする、買い物をすることもあると思う。

場所等を今現在、構想であるなら詳しく教えてほしい。

答弁(町長) 交流拠点となる公園等施設の必要性について、定住促進並びに人口減少対策を総合戦略で掲げ、現在、事業展開をしているところ。

町内に点在する公園施設については遊具の老朽化や少子化、地域の高齢化などの理由で維持管理が果たせず、子どもや家族連れが集う公園施設の形態をなしていないものが多く見受けられる。子どもや親子で一定時

間そこで過ごし、周囲の人達ともコミュニケーションを深める交流拠点が糸田町に必要であると認識している。施設づくりは体制ができれば前向きに進めていきたい。

Q 宮床団地A棟B棟工事が遅延しているが理由は何か。

A 現場作業がスムーズに進ちよくせず、工期の延長をおこなっている。

質問 宮床団地A棟B棟工事の遅延を問う。9月の定例会で状況と今後の予定を尋ねた。竣工予定は10月末。入居予定は12月中との答弁。しかし現在入居は始まっておらず、1月中旬の入居になっている。工事が遅延になった理由は何か。

答弁(課長) 遅延理由は、天候や現場作業がスムーズに進ちよくせず、工期の延長をおこなっている。

全体計画として、きちんとした工程を作つて、平成36年度完成を目指していききたい。



Q 町の歴史、文化での観光推進を問う。

A(課長) 古きよき時代の写真を活用。パンフレット、カレンダー作成。



Q 広報紙の「糸田町の文化財のは・な・し」をカルタにしているかどうか。

A(町長) 文化財の専門の職員もいる。中身の表現が一番大きな作業十分協議。



シリーズ
糸田町の文化財のは・な・し
第187話 桂化木
今回紹介するのは、糸田町で出土した桂化木です。桂化木とは、大昔にその地に育っていた樹木が土砂に埋まり、長い期間をかけて化石になったものです。別名「松岩」と呼ばれ、石垣などに使用されていました。写真は木の根っこの部分で、年輪などもはっきり確認できます。ご意見・ご感想・ご要望などありましたら、教務課 社会教育係(電話26-0038) 担当 岩熊真実まで



質問 気温、湿度ともに熱中症の警戒度をあらわす暑さ指数を計測して表示できる熱中症計測器の活用。水を飲みたいと思った時に飲める、冷水機の設置を問う。

A 計測器は設置したい。冷水機は調査研究したい。

Q 熱中症対策 小中学校に、熱中症計測器、冷水機の設置。



3番 小嶋 康子 議員

答弁(教育長) 水分補給は、保健室に用意している。計測器は高額ではないので設置したい。

答弁(町長) 冷水機は、水道直結型が一番安全。今後調査研究したい。

Q 路線バス、福祉バス、タクシー、交通手段の総合的な取り組み。

A 広域事業でバス運行を協議する方向も考えられる。

質問 路線バスの現状と課題を問う。

答弁(課長) 西鉄バスが真岡から役場前、中学校前、原を通り、後藤寺

に行く。後藤寺から自由ヶ丘、自動車学校横、東保育所前を通り、桃山から田川市へ抜け、福智町終点とする2路線。

財政負担は、路線存続のため赤字補填を糸田町、田川市、福智町でおこなっている。糸田町は年間250



の中で糸田をコースに入れて実施してもらえば幸いであるが、今後の課題である。

万円程度負担している。

課題は、路線が少ないため利用しづらい。補填額は増加傾向にある。

質問 路線バス、巡回バス、福祉バス、デマンド交通などを連携

させた新しい移動手段を構築している自治体がある。デマンド型は必要に応じてその範囲内で経路を変更できる交通手段などがあるが、糸田町には、乗り合いタクシーを導入してはどうか。広域のスクールバスを問う。

答弁(町長) デマンドタクシー、民間と自治体が協力し合つて運行する。

今後十分に協議する。スクールバスは過疎債事業で国に認められるものである。8カ市町村、広域連携

総務文教振興常任委員会

総務文教振興常任委員会とは…

主に、総務課・税務課・地域振興課・教務課に関する事項を審議調査します。

田川市との間における田川広域定住自立圏形成協定の締結について

説明 糸田町と田川市で協定を締結し、8市町村での政策分野の連携事業ができる。他の自治体のノウハウを取り入れることができる。財政負担が少なくできる。

Q この事業で一番に考えていることは？

A 奨学金制度の創設、広域ゴミ処理、田川地域内の交通網の整備などを考えている。

糸田町税条例等の一部を改正する条例

- ◆延滞金の計算期間の見直し
平成29年1月1日より施行
- ◆**自主服薬**（医師の処方箋がなくても購入できる薬）の購入額が1万2千円を超える部分が医療控除できる。平成30年の申告から適用開始。

Q 現在の医療控除と一緒にできるのか。

A できない、どちらかひとつ

糸田町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

東京出張の打ち切り旅費を実費精算へと改めるため。

現行：打ち切り6万5千円

改正：領収書添付により実費精算

生産調整推進対策費 約90万円

説明 **減反農家**へ面積に応じて扶助する。10アールあたり1万円。

全農家は10アールあたり3,000円を拠出している。この相互扶助の金額が不足のため、当町より負担をする。

Q なぜ減反をしているのか。

A 水利や転作作物との関係などがある。

中学校多目的便所新設工事 約237万円

Q どこに設置するのか

A 2階の現在トイレのある横の倉庫を改修して、障がい者等用のトイレを設置。

田川広域観光協会負担金 約53万円

◆田川市郡の観光戦略のため

財源内訳：国の補助 2分の1
特別交付税 4分の1
糸田町 4分の1（13万2千円）

建設厚生常任委員会

建設厚生常任委員会とは…

主に、住民課・福祉課・建築課・土木課・水道課・町立緑ヶ丘病院に関する事項を審議調査します。

田川郡東部環境衛生施設組合の共同処理する事務の変更及び田川郡東部環境衛生施設組合規約の変更について 糸田町と大任町との間のし尿及びじん芥処理施設の建設に関する事務委託に関する事務の変更について

説明

現在、大任町に、し尿・じん芥処理施設の建設事務を委託しており、最終処分場の建設事務においては、東部環境衛生施設組合にあるため、最終処分場の建設事務委託を追加する。



最終処分場
でな—に

ゴミを燃やして灰になったものや、再利用などができないものを処分すること



公営住宅管理システム改修業務委託料 約157万円

新しい宮床団地駐車場が有料化に伴い、システムを改修する必要があるため。

Q 業者はどこか

A 日立システム



糸田町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例

説明

宮床町営住宅の戸数が増になる
215戸→229戸

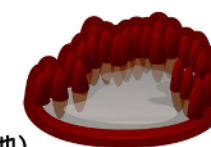
県営ため池等整備事業（ため池整備工事）工事費負担金 約20万円

説明

堤体入口のフェンス設置と階段の設置を2カ所から4カ所にする。
（糸田町は20%の負担）

Q 場所は？

A 木のたため池（鼠ヶ池）



障害者福祉費 約3,380万円

障害児施設給付費 約1,840万円

Q 給付費増の理由は？

A 利用者を9名予定していたが、11名増、合計20名利用のため。
20名は12の施設を利用している。

◆補装具給付金 約240万円

◆更正医療給付費 約1,300万円

説明 心臓の手術や透析などを利用する医療費が不足しないように予算計上。



平成28年第4回糸田町議会定例会（12月8日～12月16日）

「○」賛成 「×」反対

	件 名	結果	山	竹	小	田	早	谷	松	村	中	城	松	井
			田	田	嶋	中	麻	口	岡	上	原	島	瀬	手元
議 会 結 果	平成27年度糸田町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成27年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成27年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成27年度糸田町学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成27年度糸田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成27年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成27年度糸田町上水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	糸田町税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	糸田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	継続	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	—
	糸田町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	継続	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	—
	糸田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	糸田町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	糸田町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	糸田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	糸田町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成28年度糸田町一般会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成28年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成28年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
発 委 結 果	平成28年度糸田町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成28年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成28年度糸田町上水道事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	田川市との間における田川広域定住自立圏形成協定の締結について	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	田川郡東部環境衛生施設組合の共同処理する事務の変更及び田川郡東部環境衛生施設組合規約の変更について	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	糸田町と大任町との間のし尿及びじん芥処理施設の建設に関する事務委託に関する事務の変更について	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	糸田町教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
	糸田町議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—

※ 議長に採決権はないため「—」としています。可否同数の場合のみ裁決権を行使します。
※ 「欠」は最終日欠席



意見書の提出		
	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	可決

議 長 交 際 費

議長交際費 執行状況（平成28年10月～12月）

	区 分	摘 要	支払金額
10月 1 日	交 際 費	飯塚駐屯地創立50周年記念行事会費	4,000円
10月21日	慶 弔 費	田川郡身体障害者運動会祝儀	10,000円
10月27日	慶 弔 費	全日本同和会田川地区協議会人権・同和研修大会祝儀	10,000円
11月 4 日	交 際 費	研修等手土産代	12,000円
11月 5 日	慶 弔 費	阿武松部屋九州場所祝儀	10,000円
11月12日	慶 弔 費	鎮西同窓会来賓参加祝儀	10,000円
11月22日	慶 弔 費	香典1件、生花1件	25,000円
合 計			81,000円

糸田町公式ホームページでも公開しています。



決算特別委員会

委員長：谷口輝昭 副委員長：早麻章三
委 員：山田陽一・小嶋康子・田中隆之
城島信幸

決算特別委員会が
内容を検証

決算議案の審査は、課ごとに集中審査をおこないました。予算執行の効率性とその成果を審議し、これからの改善点と反省を見出し、次年度の予算編成や財政運営の糧となるよう努めました。特に改善、検討を要する事項については種々質疑がなされ、所要の措置について意見、要望が述べられました。

執行部の主な成果報告

平成27年度は、国の交付金事業による鼠ヶ池地区道路整備の実施、宮床団地建替事業の造成を終え、建物建設に着手。宮床団地は、平成28年度に第1期工事が完成し2棟54戸の入居を予定。

また、県交付金による再生可能エネルギー導入事業で防災拠点施設である役場庁舎及び福祉避難所である保健センターへ太陽光発電設備並びに蓄電池を整備。ソフト面では、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用したプレミアム商品券の発行や町内業者の新規商品開発や販路開拓の支援をおこない、地元業者の活性化に貢献できた。また、今後5年間(平成31年度まで)で見込まれる地方創生総合戦略を策定。この戦略により今後の糸田町の課題である、人口減少問題による定住促進などへの課題に取り組みたい。

一般会計の収支は、5億5,821万9,467円となり、翌年度へ繰越すべき財源を控除した実質収支は、5億5,158万9,663円であり黒字決算。昨年同様そこから1億円を自治法の規定による基金繰入(財政調整基金への積み立て)をおこない、平成28年度へ繰越す剰余金は4億5,158万9,663円。

実質収支や財政健全化判断比率による財政状況は健全な状況にあり、数値が高いほど財政の硬直化が進んできているとされる経常収支比率は92.9%と前年度より2.4ポイント改善された。これは、経常的一般財源等の普通交付税の増(地方創生による特別需用分)と地方消費税交付金の増による歳入が増えたことと、人件費が事業費支弁により下がったこと等による歳出減によるものだが、普通交付税については直近の国勢調査人口が9,026人(591人減)により平成28年度からは減額される見込みであり、地方消費税交付金も税率10%が延期されたことにより増額は見込めない。今後も事務事業の見直しや効率化による経費の削減、税等の徴収率の向上に努める。

公債費に関しては、地方債残高は前年度より4,065万円増加し、今後も町営住宅の建替え事業に着手したことによる増加が見込まれる。将来負担となる起債の発行については、今後とも事業の緊急性、必要性等を考慮し、必要最低限の発行に留めていくことが求められる。

平成27年度決算認定

27年度の予算は
どのように使われたのか

平成28年10月25日～10月26日



委員の質疑

Q、債権対策班もできているので、不納欠損をする前に手を打つべきではないか。

A、債権対策班を設置したことにより、時効中断を第一に取り組んでいる。現在は預貯金調査をおこない、差押え等をおこなっている状況。

Q、滞納相談などについては、パーテーションなどで相談しやすい環境づくりも考えて、差押えになる状況の前にそれぞれの事情によるケアをしていただきたい。

A、今後の行政の参考にしたい。

Q、消防施設費の需用費残があるが災害時の非常用物資は、足りているか。

A、備蓄倉庫の建設が平成28年度建設となったため、平成27年度では備蓄する場所が確保できなかった。

Q、台風災害による予備費の充用をした災害補修場所は。

A、道路等の風倒木の撤去、町営住宅・集会所・農林施設・小中学校補修など。

Q、国保会計の県への移行はいつになるのか。また約1億3千万円の赤字額は、今後どうなるのか。

A、福岡県への広域化は平成30年4月から。累積赤字については、県が負担してくれる見込みはないので、どう解消していくか町長と協議していく。

Q、道の駅の山笠展示について、費用に対しての効果はあるのか。

A、費用の効果を考え、違う方法も検討してみたい。

Q、病院の外来の診療時間短縮が収益に影響しているのではないか。

A、前の状態に戻すと、検査等の超過勤務も増加するので、今の状況で問題ないと感じる。

(要望) 町民は町立病院の存続は望んでいる。しかし、現状は赤字なので、何か手段を考え、節約できる部分は少しでも考え、頑張っていたきたい。



宮床県営団地沿い道路



△ きれいに整備されました（平成29年1月4日撮影）

野間浦池農業用水路



△ 平成29年度から利用開始予定（平成29年1月4日撮影）

議会活動

10月

日(にち)曜(りょう)日

内 容

1日(土)

飯塚駐屯地創立50周年記念行事

3日(月)

議会広報常任委員会

4日(火)

田川郡町村議会

5日(水)

議長会研修会

6日(木)

9日(日)

糸田町立保育所運動会

14日(金)

糸田町民生委員推薦会

17日(月)

議会広報常任委員会

20日(木)

建設厚生常任委員会協議会

21日(金)

福岡県女性農業委員の会からの要請受入

23日(日)

糸田町敬老会

25日(火)

決算特別委員会

26日(水)

人権・同和問題研修会

27日(木)

民間企業との農産物発送に
ついで協議



11月	
日にち(曜日)	内 容
3日(木)	香春町合併60周年記念式典
4日(金)	田川地区広域政策協議会
5日(土)	コールドメイン・フェスティバル(田川市) 阿武松部屋(元関脇 益荒雄)激励ちゃんこ会
7日(月)	田川郡東部環境衛生施設組合全員協議会 田川郡町村議会議長会研修会
9日(水)	全国町村議会議長会
10日(木)	全国大会(東京)
12日(土)	鎮西同窓会(田川農林高等学校来賓参加)
12日(土)	いいばい とっても
13日(日)	だいすき祭
20日(日)	糸田町暴力等追放町民大会
22日(火)	福岡県町村議会広報研修会 田川郡東部環境衛生施設組合臨時会
24日(木)	総務文教振興常任委員会協議会 総務文教振興常任委員会
25日(金)	田川郡町村議会議長会会議
28日(月)	筑豊地区暴力団追放！地域決起会議 議長団説明 全員協議会
29日(火)	建設厚生常任委員会 田川地区水道企業団定例会
30日(水)	糸田町いいばい応援大使就任式(元関脇 益荒雄)

12月	
日にち(曜日)	内 容
4日(日)	田川地区総合防災訓練(中止)
6日(火)	議会運営委員会
	議会広報常任委員会
	本会議初日
8日(木)	全員協議会
	人権講演会
12日(月)	建設厚生常任委員会
13日(火)	総務文教振興常任委員会
	総務文教振興常任委員会協議会
15日(木)	議会広報常任委員会
16日(金)	本会議最終日
22日(木)	田川地区消防組合議会定例会
	田川郡東部環境衛生施設組合
27日(火)	議会広報常任委員会



入札結果

工 事 名	業 者 名	予定額(円)	金額(円)	落札率(%)
野間浦水路改修工事(2工区)	塔明工業(株)	15,140,000	13,169,000	86.98
県道赤池糸田線配水管布設替工事(1工区)	源輝水工	12,654,000	11,000,000	86.93
宮床・桃山踏切線ほか4路線舗装補修工事(1工区)	(有)翔陽建設	7,597,000	6,525,000	85.89
宮床・桃山踏切線ほか4路線舗装補修工事(2工区)	(有)早麻組	10,445,000	8,980,000	85.97
道の駅いとだ農産物加工施設整備工事	(有)幸組	5,542,000	5,200,000	93.83
避難所、備蓄倉庫新築工事	(株)早田組	23,938,000	22,700,000	94.83



交番移転など
まちのようすの
お知らせが満載



交 番 移 転

平成29年春に移転します。移転地は田川郡糸田町1764番地1

県道沿いで糸田町役場に近接した場所であることから、管内の事件・事故等に対する迅速な対応が強化されます。また、車で来訪される皆様の駐車スペースを確保します。



(平成29年1月13日撮影)

「道の駅いとだ」の門松

正月に家の門の前に繁栄の象徴として立てられる門松。正月飾りの一つでもある門松が町の有志で道の駅いとだに作られました。



(平成28年12月18日撮影)

修 理 田 橋



近年中に完成予定



(平成29年1月4日撮影)



練習に参加するには、宿題は必ずやってくるという約束事があるので、練習時間までに必死でやってくる子どもたち。
男子キャプテンの仲島君、女子キャプテンの中西さんを中心にミニバスケを楽しむ姿が印象的。頑張れ未来の宝いとだつ子。



毎週、月・水・金曜日夕方の5時30分から町民体育館で木村憲次監督の元、男女合わせて総勢30名の子どもたちが、厳しい指導の中でも絶えず笑顔で練習に励んでいる。全員が体育館の端から端までバスケットボールを床に打ちながらシュートする練習を、何回も往復し、繰り返し、体に覚え込ませる。男女とも県大会には何度も出場するほどの強豪チーム。

未来の宝

いとだつ子

スポーツ少年団

ミニバスケットボール男・女



議会を傍聴に来ませんか

- 議会の定例会は(年4回)3・6・9・12月に開催されます。
- 本会議は、住所と氏名を記入するだけで傍聴できます。
- 委員会は、委員長許可により傍聴できます。
- 次回第1回は、3月上旬に開催予定です
(詳細につきましては、決定次第、防災行政無線等でお知らせします。)

「議会だより」アンケート募集中!

皆様の声をお聞かせください。

設置場所

- ・糸田町役場1階 住民課前
- ・糸田町役場3階 議場傍聴席入口
- ・糸田町社会福祉センター 入口正面



編集後記

愛犬と元旦に初日の出を見ようと金山工業用地の展望台に行ったところすでにたくさんの人や車が止まっていた。

あじさい園でこの場所から見える朝日が美しいと知ったのか、多くの人が堪能していた。

今回の表紙写真も早朝に撮影され、朝もやがかかり宝石をちりばめたように美しい幻想的な風景になっている。

改めて我が町の春夏秋冬の喜びを感じる。夜明方の優しい光の月もなかなかのものである。まっ赤な夕日もまたこれこれも感動的。

土から緑一面になり、黄金に輝く田んぼのさまを見るのもパッションが湧いてくる。毎日同じ繰り返し、自然に、たくさんの恵みを受ける。

宝物がたくさんつまつた糸田町。2017年も充実した議会だよりを編集したい。とくに、「まちはどうなつちよう」と?ではさまざまな角度からの取材をしたいと思う。

委員一同 葛進!!



議会広報常任委員会

委員長 小嶋 康子
副委員長 松瀬 征行
委員 竹田 照美
委員 松岡 久
委員 中原 詔蔵
委員 井手元正人

発行責任者

議長 井手元正人

問い合わせ

〒822-1392
糸田町 1975 番地 1
糸田町議会事務局
電話 26-4353